

J-CLICS攻撃経路対策編は、制御システム向けセキュリティチェックリストです。各設問にご回答いただくことで、「対象とするリスクと効果」、「対策の実施状況」、「優先度」の3つの項目を明確にすることを目標としております。

本チェックリストは、外部からの攻撃者が保護対象システム内の攻撃対象に到達するための手順について対策できているかを確認できるように設問を作成しております。制御システムに存在する代表的な攻撃経路のセキュリティ脅威と対策の状況についてセルフチェックを行い、今後の対策・検討を行う際にご活用いただければと思います。尚、本チェックリストは、すべての設問項目を達成することで、何らかの基準や国際標準を保証したり、制御システムのセキュリティ対策が万全であることを意味するものではありません。予めご了承ください。

また、各設問項目について解説した「J-CLICS攻撃経路対策編 設問項目ガイド」もご用意しております。セキュリティ対策を検討される際や社内のセキュリティ教育における資料として、併せて、ご活用ください。

下記の設問に、「○」または「×」でお答えください。

NO	設問	○ / ×	設問項目 ガイド 対応ページ
<b>ネットワーク経路</b>			
QN0	外部とのネットワーク接続は必要最小限になっていますか？		P.24
QN1	ネットワークの構成情報は秘密情報として管理されていますか？		P.26
QN2	外部とのネットワーク境界はアクセス制限と監視によって保護されていますか？		P.28
QN3	ネットワークに接続された機器は容易に突破されない強力な認証によって保護されていますか？		P.30
QN4	制御システムの内部ネットワークは、通信の必要がある機器ごとに分離されていますか？		P.33
QN5	ネットワークに接続された機器は、エンドポイント(ネットワークに接続された機器内)セキュリティ対策によって保護されていますか？		P.35
<b>無線LAN経路</b>			
QR0	無線LANの使用は必要最小限になっていますか？		P.41
QR1	無線LANの構成情報は秘密情報として管理されていますか？		P.43
QR2	無線LANの電波状況を把握して電波到達範囲が必要最小限となるように管理されていますか？		P.45
QR3	セキュリティが考慮された無線LAN機器を選定し、不正アクセスを難しくする適切な設定・運用がされていますか？		P.47
QR4	無線LANに接続された機器は容易に突破されない強力な認証機能によって保護されていますか？		P.50
<b>持ち込みデバイス経路</b>			
QD0	持ち込みデバイスの使用は必要最小限になっていますか？		P.56
QD1	持ち込みデバイスはウイルス感染を防止するための対策がされていますか？		P.58
QD2	持ち込みデバイスは用途や使用エリアが制限され、管理された状態になっていますか？		P.60
QD3	持ち込みデバイス内のデータは使用用途が制限され、検査・管理された状態になっていますか？		P.62
QD4	持ち込みデバイスを接続する機器(エンドポイント)はセキュリティ対策によって保護されていますか？		P.64
<b>物理経路</b>			
QP1	重要な設備や機器が設置された場所は、セキュリティ区画として管理されていますか？		P.70
QP2	セキュリティ区画は、入退出管理によって保護されていますか？		P.72
QP3	重要な設備や機器は、施錠管理によって保護されていますか？		P.74